

令和4年度 江戸川区立小岩第一中学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	自主性に富んだ生徒を育てる 責任を持って行動する生徒を育てる 健康で情操豊かな生徒を育てる	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	みんなが幸せになれる学校 次代の社会の担い手となる生きる力を身に付けた生徒 学校経営参画意識をもって職務を遂行し、教育目標の達成に努める教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> 新型コロナウイルス感染症拡大が収束せず、小中連携教育などの交流が難しい状態であったが、教育課程を見直しや新しい生活習慣を定着させることで、授業数の確保のみならず、自己肯定感を育てる行事等においても例年の形を変えながらも教育活動を継続することができた。</p> <p><課題> 感染症拡大の収束が見られない状況で、学校公開など地域や保護者の参観ができなかった。昨年度同様に教育活動を継続していくが、感染症防止策を講じながら学校公開の機会を増やし、保護者や地域への理解をさらに深めていきたい。また地域と保護者の教育力を活用し、開かれた教育課程の実践を目指していく。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や放課後補習教室の充実、家庭学習(eライブラリー/アドバンス活用)の定着 ・ICT機器の活用推進	・放課後補習教室の実施 ・家庭学習の推進に向け「江戸川っ子study week」を取り組む ・iPadを活用した授業を実施	・放課後補習150程度実施 ・「study week」学期に1週間設定 ・国学力調査では平均正答率を全国と同程度にする	B	B	・放課後補習1学期に50回を達成 ・学習支援アプリ「eランニング」が8割以上アクセス達成	B	・放課後の補習教室や補習活動に力を入れていることがわかる。今後の成果に期待したい。	・「study week」期間中以外にも「eランニング」の活用を推進し家庭学習の充実を図る
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・学校図書館の整備と充実	・読書科の年間授業数の確実な実施 ・行事や他教員の授業と連携し、発達段階に適した探究的な学習を実施 ・公共図書館との連携を強化	・総合的な学習の時間の他に、読書科として各学年年間35時間実施 ・探究的な学習を通して成果物を作成 ・小岩図書館司書による月1回支援指導	B	B	・各学年ごとにビブリオバトルを実施、読書の楽しさ以外にも、他者に伝える力を養えた ・宿泊行事などの事前学習にて探究活動を取り入れている	B	・学校HPにも読書科に関するページが掲載され学校の取組がわかる。今後の取組も楽しみである。	・小岩図書館司書と連携し、書架の整理と充実を図っていく ・探究活動による成果物を作成し、読書科の取組から主体性を育む
	体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 ・校舎改築開始年度であり校庭が使用できないが、河川敷などを借りて体育の授業を確保	・都体力調査の分析から、必要な補助運動を改善し体育の授業で実施 ・河川敷や近隣の小学校の協力を得ながら、体育授業や部活動の実施	・都体力調査の項目「投げられる力」を都の水準に押し上げる ・小中や地域など協働したレクリエーション環境の整備	B	C	・感染症対策を行い体育の授業を確保できた。改築による校庭代替地の計画的活用が課題である ・過機が新しくなり、水泳指導の時間が確保できた	B	・コロナ禍の中、学校やPTAの協力も運動会を参観でき、生徒の力強い演技や競争が見られて良かった。	・校舎改築工事により10月から校庭が利用できないため、河川敷や近隣の小学校との連携を図り、体力向上を継続していく
	外国語教育の推進	・ALTの効果的な活用 ・各種テスト、検定への奨励	・英語科部会を実施、ALTによる授業強化 ・英語検定を実施、スピーキングテスト実施	・ALTによる効果的な授業数を確保 ・英検合格者への表彰、スピーキングテスト平均スコアを都平均より5ポイント以上とする	B	B	・英語教員と協力し、計画的にALTを活用した授業が展開できた ・日本語英語検定協会から奨励賞を受ける	B	・英語検定を受験生が多く合格者も多い。グローバル教育が今後必要になる。これらを進めてほしい。	・昨年度からのスピーキングテストを取組を今年度も進めていく
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・特別支援教育巡回拠点校と連携を図りながら、校内委員会の活性化を図る ・多機能な役割を持つ部屋へ取り組む ・副籍交流の実施	・特支コーディネーター中心に巡回指導教員と連携した校内委員会を年30回実施 ・家庭と連携を取り、個別指導や教育相談など活用していく ・感染症防止を図りながら副籍交流3回以上実施	B	C	・校内委員会を1学期に12回実施、情報交換が活発に行っているが、支援体制が課題である ・鹿本学園と連携し、副籍交流を1学期には2回実施できた	C	・エンカレッジルームや相談室前の廊下に各種案内もあり、活用しやすくなっている。 ・共生社会に向けた取組も少し見えるようにしてほしい。	・2学期にはパラリンピック選手を招き、学年別にオリパラ講演を実施予定で保護者参観も可能とする
	子供たちの健全育成	・子供たちの健全育成に向けた取組の強化 ・不登校生徒の共通理解と支援対策の推進	・QU調査やいじめ調査を実施し、いじめ等の早期発見、解決を図る ・SCに相談できる環境をつくる。 ・外部機関との連携を強化する	・保護者アンケートで「心の育成」に関する項目において肯定的な意見を90%とする ・1年生全員対象にSCの個別面談を実施 ・SC年間40回訪問、SSWとも連携を強化	B	B	・登校が難しい生徒に向けてエンカレッジルームを活用し、無理のない登校を促している ・SCとの1年生全員面談を実施できた	B	・特に長期休業明けなど生徒たち様子を見取り、心のケアに努めてほしい。 ・地域としても解決に向け協力していく。	・学校生活や「SOSの出し方出前授業」「道德地区公開講座」など外部との連携を図り、生徒の心に寄り添う教育を進める
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	・教育活動の改善、充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・学校ホームページの充実 ・学校評議員会を実施 ・保護者向けのアンケートを実施 ・生徒向けのアンケートを実施	・保護者や学校評議員に参観する機会を設ける(学校公開年4回、行事など) ・学校評価者評価をHPに掲載、課題を把握し次年度の改善につなげる	B	B	・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、学校公開・運動会・学校説明会など実施できた	B	・昨年度運動会はコロナ禍で生徒の活発な姿が見られなかったが、学校やPTAの工夫で参観できたことは良かった。	・感染状況は予想が難しいが、臨機応変に対応し教育活動を参観する機会を設け、適正な学校評価につなげる。
	地域との連携教育の推進	・近隣の小学校と「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 ・町会など地域との連携を強化	・三校一園の音楽会を実施 ・改築に伴う校庭やプールの貸借 ・チャレンジザドリームやボランティア活動での地域への連携	・文化の目に三校一園の音楽会を実施 ・夏季にプール、秋季以降に校庭の貸借を実施 ・秋季にチャレンジザドリームを実施 ・校外問わずボランティア活動に参加した生徒を3割以上とする。	B	B	・改築に伴い近隣の小学校に協力いただき、10月以降に校庭部活動において小学校の校庭を使用することができるようになった	A	・「江戸川クリーン大作戦」に70名以上が参加し、たいへん活発に行われた。コロナ禍ではあるが、今後も学校と地域の連携を強化していきたい。	・コロナ禍ではあるが、工夫しながらさらに地域と連携を図り、ボランティア活動などの諸活動を実施していく。
特色ある教育の展開	生徒憲章の具現化	・生徒自ら策定した「小岩一中生徒憲章(H29)」の取り組み	・生徒会中心に生徒が主体的できる活動を奨励 ・感染症防止の工夫を考えながら、新しい生活習慣を見据えた活動を実施	・生徒アンケートで「生徒会や学級活動での積極的な参加」の項目において肯定的な意見を90%とする。	B	B	・生徒会中心に改築に伴う「思い出プロジェクト」として、旧校舎の思い出の場所などを紹介する企画を計画中である	B	・生徒の主体的な活動をどんどん実施してほしい。地域として応援していきたい。	・「思い出プロジェクト」を実施し、HPなどで地域や保護者に伝えていく。
	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施、地域や保護者へ周知	・「学校職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例(都)」に基づく勤務体制とする	・職員の出勤時の時間を管理し、1年間の定時外在校時間が360時間を超えないようにする ・職員の年休取得を都職員の水準15日に押し上げる	B	C	・9月現在、職員の1か月の定時外在校時間が80時間以上(ほぼ0人)となつており ・9月現在、休暇取得6日となり、計画的な休暇取得が課題である	B	・無理な勤務は教員の心身に大きく影響し、それは生徒指導にも強く影響すると考える。万全な状態で教育活動に当たってもらいたい。	・改築に伴う業務負担(校庭代替、廃棄他選別、引越など)が過多にならないよう調整を図っていく。